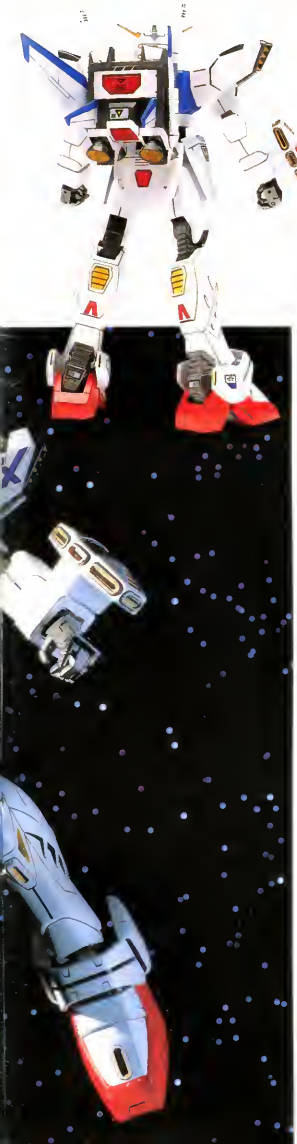
MS HAND BOOK

MOBILE SUIT GUNDAM
SILHOUETTE FORMULA
OFFICIAL HAND BOOK

モビルスーツハンドブック

BANDAI

な歴史がここに始まる



●メカニカルデザイナー

大河原邦男氏

“Mobile Suit Variation”

それは、1983年4月に発売された、144分の1スケール〝MS 06RザクⅡ〟、〝MS－06Kザクキャノン〟に始まるガンダム・フラモデルシリーズの総称です　これらのバリエーションデザインは「一年戦争」時の設定に基づくMSでしたが、あれから約10年の月日を経て新たなる〝MSV〟が誕生しました

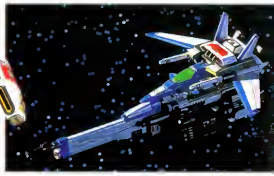
'91年3月に公開された劇場作品「機動戦士ガンダムF91」は、〝小型MS〟という、これまでとは異なるコンセプトのMS群を生み出しました　これらの新MSは1100スケールで統一される「F90」&「F91」というフラモデルシリーズとして商品化され、ガシャポン、コミック、ゲームソフトと展開され、多くのガンダムファンの皆様に好評を博しました

この「F90」&「F91」シリーズから派生した小型MSのバリエーションが、〝シルエットフォーミュラ〟です

原案は矢立肇・富野由悠季の両氏、構成はサンライズ企画室の井上幸一氏が中心になって担当しています　メカニカルデザインは、私　そしてキャラクターデザインは「ガンダムF91」の作画監督を務めた小林利充氏です　フラモデルを中心としたシリーズですが、設定・ストーリー面ではサンライズが積極的にバックアップしています

本書では、その世界観、ストーリー、MS＆人物キャラクター、さらにモデラー諸氏による、改造作例を収録、〝シルエットフォーミュラ〟、を、より一層楽しんで頂こうという内容で構成されています

MSの新た



ネオガンダムはアナハイム社がUC0130年代をリードすべく、その威信をかけて開発した新型ガンダムだ。

RX-99
NEO-GUNDAM

MOBILESUIT GUNDAM

SILHOUETTE FORMULA 91

IN U.C.0123

GUNDAM RXF91

SFP（シルエットフォーミュラ計画）によって完成させられたアナハイム版のF91。ヴェスバー、ビームシールドなどそれまでのアナハイムのMSに見られなかった装備を持つ。

SILHOUETTE FORMULA PROJECT――それは、小型MSの開発競争に遅れをとったアナハイム・エレクトロニクスが、非合法に入手したサナリィの極秘資料から得た"F計画"の技術を基に開発した、新たな、モビルスーツ群のことだ。
今、月の裏側"ゼプラゾーン"で、その運用試験が行なわれようとしていた……。

SFPによって製造された小型MSの1機。サナリィからの技術供与により、F71 Gキャノンを上回る戦闘能力を持つ

F71B
G-CANNON MAGNA

アナハイムによって生産されたGキャノンの改良機。単なるライセンス生産ではなく、SFPの最新テクノロジィーが投入されている。

RGM-111 HARDYGUN

ZEBRA-ZONE
が行なわれていた

宇宙世紀0123年2月。月の裏側。かつてのジオン共和国サイド3と月の中間には、月と地球の間に位置する暗礁宙域のような“ゼブラゾーン”と呼ばれる宇宙の墓場があった。

アナハイム・エレクトロニクス社は、この宙域付近で極秘裏に新型MSの運用試験を行なっていた。外観を輸送艦風に偽装したMS試験艦“プレイウッド”は、二ヶ月間続いた模擬戦闘試験の最終段階を迎えていた。

あと一週間後に迫った試験終了を前に、快調にメニューを消化してゆくA・E社の試験部隊。だが、実用試験を行なっていたのは、彼らだけではなかった。ゼブラゾーンをはさんだ対面の宙域に、もう一隻の宇宙艦が存在していたのだ。奇しくも双方の試験コースは、ゼブラゾーンへと向っていたのである。

運命は交差し、悲劇は起こった。

■プレイウッド
連邦軍の輸送艦コロンブス級に似た外観をしているが、実際はスペースアーク級の戦艦を改装したものである。民間船のため、メガ粒子砲等の武装は施されていない。

●CHARACTER

■ケビン・フォレスト
A・E社専属の民間テストパイロット。天才的な操縦技術に長け軍人であるトキオをライバル視している。19歳。

■トキオ・D・ランドール
少尉
RXF91のパイロット。
SFP”のテストパイロットとして、連邦軍よりA・E社に出向している。戦争を知らない世代で、戦闘は経験不足である。21歳。

STORY 1

U.C.0123年02月

月の裏側の暗黒宙域でSFPの運用試験

テストパイロットとしてアナハイムに出向している地球連邦軍のトキオ・D・ランドール少尉は、アナハイム専属のケビン・フォレストとともに、試作MSの運用試験を行なっていた。

小型MS開発で新興勢力のサナリィ（海軍戦略研究所）に遅れを取ったアナハイムは、連邦軍の次期主力兵器の開発選定から排除されることを懸念し、F71のOEM（エット・フォーミュラ・プロジェクト）を発動させた。さらに、非合法手段によって入手したサナリィの機密資料を基に、新たなモビルスーツ群が誕生した。

RGM－111ハーディガン、F71B　Gキャノンマクナ、そしてアナハイム版F91のRXF91である。

トキオはRXF91に搭乗、ケビンのハーディガンと模擬訓練の最中だった。

突然、彼らの前に出現した真紅のMSゞデナン・ゾンゞ（C・V（クロスボーン・バンガード）の若きパイロット、モーリス・オバリー少尉は、発見された焦りからアナハイム側のMSに発砲してしまう。反撃するアナハイム側のMS、双方ともに模擬戦用の装備で実弾ではなかったが、それでも充分だった。たがいの機体に傷着したマーカーは、それぞれに未知の敵の存在を証明していた。

機体を収容し、状況の把握と分析を進めるブレイウッドの乗組員達。遭遇したMSの外観から、この宙域にC・V軍の艦船があることは解った。しかし、彼らのクロスボーン・バンガードについての認識は、ジャンク屋から身を起こして一大コンツェルンを築き上げたロナ家の私兵という程度のものだった。やがて、C・Vが決行しようとする作戦行動については、知る由もなかった。

■カール・シュビッツ

元　ネオ・シオン軍の大尉でMSパイロット。A・E社に拾われ　第二の人生を送っていた。52歳。

■アルバート・エルゼナー

アナハイムテスト部隊のチーフエンジニア。アイリスの亡くなった父親の親友。42歳。

■アイリス・オーランド

A・E社のエンジニア助手。アイストールと結ばされ、冷静で常に理論的な思考をする。20歳。

オ・ジオン残党の娘だった

同様に〝ゼプラゾーン〟の対岸では、C・Vの MS試験部隊〝ダークタイガー（闇の虎）〟隊も、この事態の分析を行なっていた。

連邦系MS部隊との接触を重要視したD・T隊の指揮官、シェルフ・シェフィールド大尉は試験中止を宣言、C・Vの機密保持のためブレイウッドへ攻撃を仕掛けようとする。

武装集団〝クロスボーン・バンガード〟の実態は、まだ世に知らせるわけにはいかなかったのである。

時に宇宙世紀0123年2月。鉄仮面が率いるC・V軍が〝プロンティア・サイド〟に侵攻する僅か一ヶ月前のことである。

●0100年以後に開発されたMSは、それ以前の機体より小型化になった。0090年代のMS、ギラ・ドーガがとても巨大に見える！

●CHARACTER

■ザビーネ・シャル大尉
〝黒の部隊〟の隊長。シェフィールド大尉とは同時にC・Vへ参加した、竹馬の友の間柄。他人への猜疑心が強い。24歳。

■シェルフ・シェフィールド大尉
C・V軍、新型MS試験部隊の隊長。「フレイム・タイガー（炎の虎）」の異名をとり、真紅に塗装されたMS群を率いる。23歳。

STORY 2

美しき女戦士はネ

打開策を講じるため、月のアナハイム本社に連絡をとろうとするブレイウッドのテスト部隊。しかし、すでにD・T隊はゼプラゾーン周辺に対し、ミノフスキー粒子の散布を終了。通信は途絶えさせられてしまう。

エルゼナー元大尉の指揮下、臨戦体制をとるブレイウッドに襲い来る真紅のD・T隊のMS部隊。両者の戦闘は、ゼプラゾーン近くへと展開、ブレイウッドはD・T隊の追撃から逃れるために、ゼプラゾーンへと侵入した。そこで、宇宙世紀初期のものと思われるスペースコロニーの港湾ブロックへ避難することに成功した。

廃棄され、荒れ果てたコロニー。しかし、居住区の一角に灯が確認された。その時、艦内に警報が鳴り響いた。1機のMSが接近してきた。〝シャアの動乱〟時の旧式MS、ギラ・ドーガである。

渓黒に塗装された、そのMSに乗っていたのは、まだ幼なさが残る少女レイラだった。あとを追うRXF91とハーディガンは、居住区の一角へと降りて行く。疲れ果てたように朽ちた旧式MSが並んでいる。すべて、シャアの動乱時の機体だが、おそらく稼動できる機体ではないようだ。

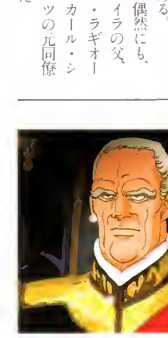
居住区には、百人あまりの人々が生活していた。

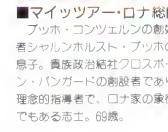
レイラの家に案内されたトキオとケビンは、比処に生きる人達がかつて、ネオ・ジオンの兵士だった者とその家族であることを知る。

今は戦いを捨て〝世捨て人〟となり、ひっそりと暮していたのである。

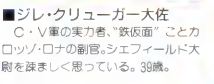
偶然にも、レイラの父、アデル・ラギオールは、カール・シュビッツの元同僚だった

■レイラ・ラギオール
ゼプラゾーンでのサバイバル生活は、彼女が幼い時からMSに乗ることを強要し、18歳という年齢の割にMSの操縦をうまくこなす少女へと成長させた。





■モーリス・オバリー少尉
D・T隊が初配属の新人パイロット。シェフィールド大尉の部下となり機体を預かったことを誇りに感じている。19歳。



■ジレ・クリューガー大佐
C・V軍の実力者、〝鉄仮面〟ことカロッゾ・ロナの副官。シェフィールド大尉を疎ましく思っている。39歳。

■マイッツアー・ロナ総帥
ブッホ・コンツェルンの創始者シャルンホルスト・ブッホの息子。貴族政治結社クロスボーン・バンガードの創設者であり、理念的指導者で、ロナ家の象徴でもある志士。69歳。

を見せる日がやって来た

束の間の休息　そして、旧友との再会。やはり元ネオ・ジオンのMSパイロットであるシュピッツ大尉の存在もあり、住人達に受け入れてもらったブレイウッドのクルー達。

しかし、コロニーの外には、依然としてD・T隊の影が見え隠れしている。全員での脱出は不可能と判断、連邦軍に救援を求める計画が決まった。発進の準備が進む中の警報。突然のD・T隊の襲撃。偵察に出ていたレイラのギラ・ドガが発見されてしまったのだ。飛び出して行くビンのハーディガン、テストパイロット隊長のカール・シュピッツもGキャノンマグナで出撃した。

D・T隊の包囲網突破のためにロケットブースターを追加装備したRXF91が発進する。トキオは無事脱出できるのか。

●CHARACTER

■アイトール・ホルスト

SFPのためにA・E社に艦長として雇われた、元連邦軍大佐。極めて小心な男である。55歳。

■バズ・ガレムソン中佐

オールズモビル掃討の一環として、ネオ・ジオン残党狩りを受け持つ、連邦軍の機兵部隊隊長。35歳。

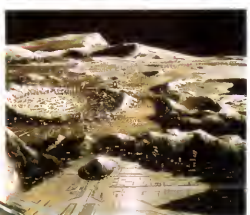
■鉄仮面

コナ家の嫡養子、カロッソ・ロナ。C・V軍の実質的な最高指揮官。ラフレシア計画を発案し、MAラフレシアを完成させた。推定年齢45歳。

STORY 3

遂にSFPの真価

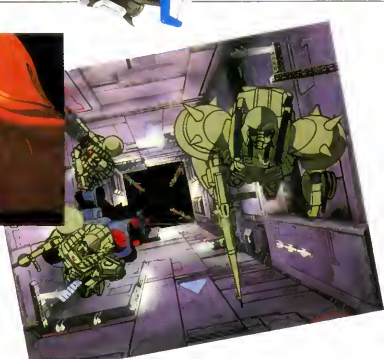
D・T隊は総力をもってRX-F91を阻止しようとする。ぼろぼろになりながらも、月のアナハイム本社へと辿り着くRX-F91。そこには試運転を待つばかりの新型MS、"RX-99ネオ・ガンダム"が完成していた。すぐさまブレイウッドへ取って返そうとするトキオに、連邦軍のバズ・ガレムソン中佐の一個部隊が同行することになった。



ガレムソン中佐の目的は、なんと元ネオ・ジオン兵士の掃討にあったのだ。愕然とするブレイウッドのクルー達。いや、戸惑を見せているのは彼らだけではなかった。事の成り行きを報告しようとしたD・T隊では、C・V軍司令部より、ガレムソン中佐の部隊との共同作戦を展開せよとの命令を受け取っていたのだ。すべては、A・E社とC・V軍司令部によってあらかじめ計画されていたことだったのだ。

ここに、宇宙世紀史上、類を見ない不可思議な出来事である《幻のZEBRAの戦闘》事件が、生れることになるのである……はたして、それは!?

今、
Gバードが
飛翔する!



■ベラ・ロナ
訳あって里子に出されているが、由緒正しい口ナ家の跡取り。コスモバビロニアの建国は、彼女を発見することから始まる……。0123年には17歳になっているはずだ。

PROJECT HISTORY

U.C.0093年9月
連邦軍の諮問機関であった戦略戦術研究所が"連軍戦略研究所"「S・N・R・I」として再編される。

U.C.0102年
サナリィ、連邦政府にMSの小型化を提言する。

U.C.0105年11月
A・E社が連邦軍の依頼を受け、小型MSの開発に着手。

U.C.0108年7月
ブッホ・エアロダイナミックス社、小型高性能MS、デッサ・タイプ試作1号機をロールアウト。

U.C.0109年
RGM－109ヘビーガン　ロールアウト。

U.C.0111年9月
サナリィによるF90の1号機がロールアウト。及び各種オプションA・D・S・M・Hが本体に先行して完成。

U.C.0111年10月
連邦軍、次期主力MS開発を決定。サナリィのF（フォーミュラ）90シリーズがA・E社のMSA－120を下し、正式採用となる。

U.C.0112年2月
F90運用試験用のオプション、L・V・Pが完成。

U.C.0112年6月
A・E社内で極秘裡に"シルエット・フォーミュラ・プロジェクト"（SFP）始動する。

U.C.0115年4月
F71G・キャノン　ロールアウト。

U.C.0116年7月
F91、ロールアウト。バイオコンピュータの調整に手間どる。

U.C.0119年
ラフレシア・プロジェクト発動。

U.C.0121年2月
F90及びF91運用テストのため連邦軍巡洋艦エイプラムスに搬入される。

U.C.0121年3月
サイド4空域でテスト飛行中のF90の試作II号機がオールズモビルの部隊によって強奪される。

U.C.0121年10月28日
F90II号機、改修完了と同時に「J」タイプのオプションも完成。

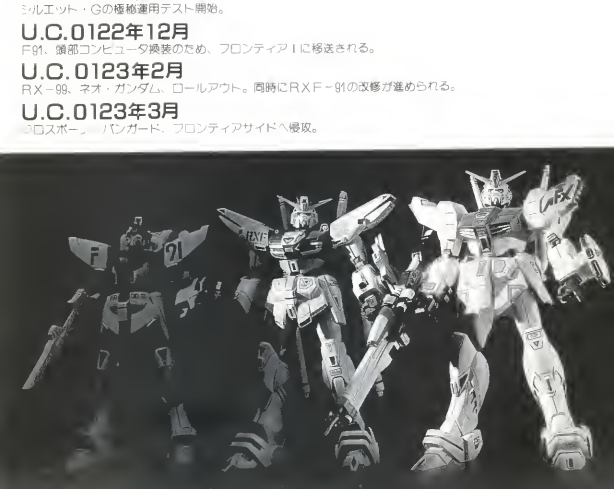
U.C.0122年8月
A・E社、RXF－91シルエット・G、ロールアウト。

U.C.0122年11月
シルエット・Gの極秘運用テスト開始。

U.C.0122年12月
F91、頭部コンピュータ換装のため、フロンティアIに移送される。

U.C.0123年2月
RX－99、ネオ・ガンダム、ロールアウト。同時にRXF－91の改修が進められる。

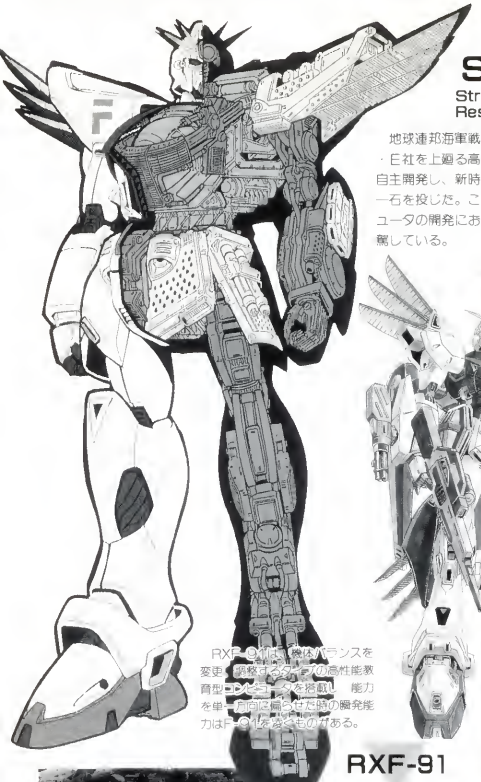
U.C.0123年3月
ラロスポーツ、バンガード、フロンティアサイドへ侵攻。



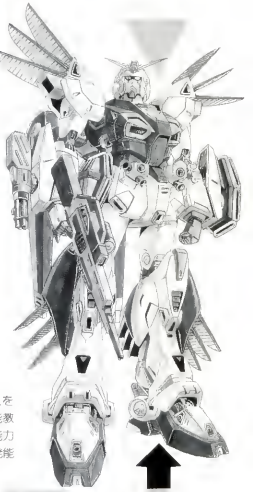
SILHOUETTE FORMULA

S.N.R.I
Strategic Naval Resarch Institute

地球連邦海軍戦略研究所の略称。A・E社を上廻る高性能MS、"F90"を自主開発し、新時代のMS開発競争に一石を投じた。ことにバイオ・コンピュータの開発においてはA・E社を凌駕している。



RXF-91は、機体パフォーマンスを変更、搭載するあらゆる高性能装備コンピュータを搭載し、能力を単一方向に偏らせた時の瞬発能力は、ケタ外れな物がある。

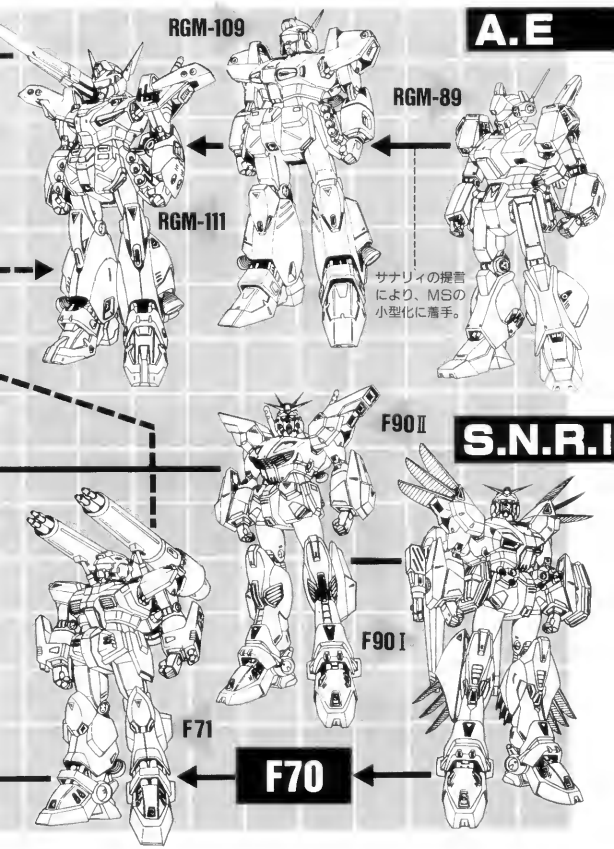


RXF-91

A.E CO. LTD
Anaheim Electronics

月に本拠を置く複合企業。家電製品から作業機械、はては兵器まで製造している。モビルスーツ開発は一部門にすぎないが、0080年代半ばから0100年代まで連邦軍のMS製造を、ほぼ一手に握っていた。

MS発展史
Mobile Suit Development



「F計画」の発端は、宇宙世紀0102年にサナリィが連邦議会に提案した『小型MS開発にあたっての提言』に始まる。

高騰するMSの開発費を圧縮し、肥大化した軍事予算を〝ジャアの動乱〟後のコロニー再建へ廻すことが目的だったのだが、この提言をMSの開発を一手に握るアナハイム・エレクトロニクスは即座に受け入れようとはしなかった。

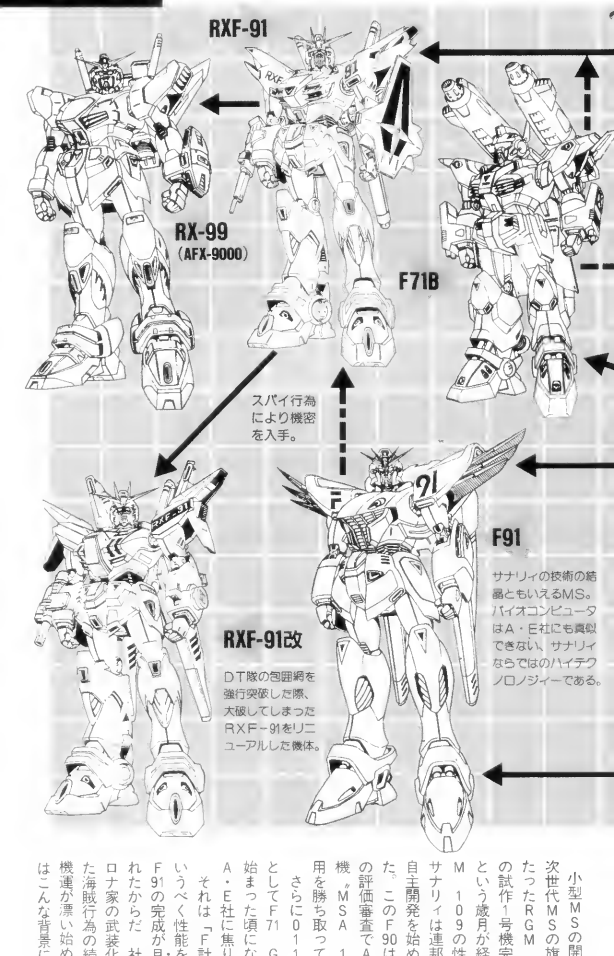
MSの開発より、コロニー資材や宇宙艦船の建造、それにまつわる工事受注がA・E社に巨利をもたらしたからだ。同時に反地球連邦政府運動の表面的な鎮静化が新型MSの開発を鈍化させていった。

連邦軍の主力MSの座は、RGM89ジェガンの改装で充分だった。ジェガンの傑出した汎用性を評価しなくてはならないのだろうが、それがA・E社の小型MS開発を遅らせる原因となったのだ。

A・E社が連邦軍の発注により

地球連邦軍

U.N.T SPACY

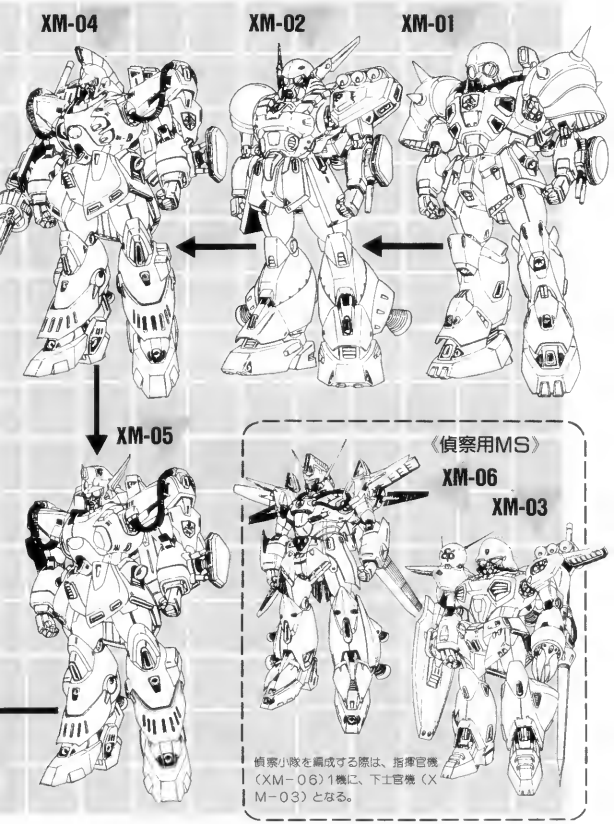


小型MSの開発に着手してから、次世代MSの旗手となるべきはずだったRGM-109ヘビーガンの試作1号機完成まで、実に5年という歳月が経過した。このRGM-109の性能に不満を持ったサナリィは連邦軍の承認を得て自主開発を始め、F90を完成させた。このF90は、0112年の軍の評価審査でA・E社の競争試作機〝MSA-120〟を下し、採用を勝ち取ってしまった。

さらに0115年、支援用MSとしてF71Gキャノンの調達が始まった頃になって、ようやくA・E社に焦りの色が見え始める。それは「F計画」の到達点ともいうべき性能を持った高性能MSF91の完成が目前という情報が流れたからだ。社会情勢の面でも、ロナ家の武装化、旧型MSを使った海賊行為の続発と再び、戦乱の機運が漂い始めていた。「SFP」はこんな背景にスタートした。

MS開発史

Mobile Suit Delelopment



偵察小隊を編成する際は、指揮官機（XM-06）1機に、下士官機（XM-03）となる。

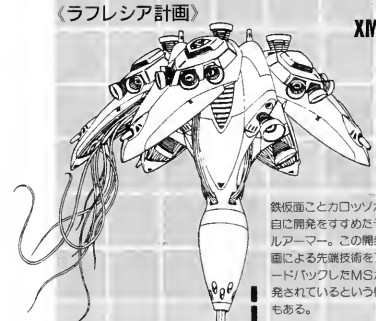
ブッホ・コンツェルンの航空機部門、ブッホ・エアロダイミックス社は、宇宙世紀0108年に小型高性能MS、デッサ・タイプを完成させた。この時点ではメインジェネレータである核反応炉はアナハイムから購入したものを使用していた。

デッサ・タイプは作業用MSという触込みだったが、実際は戦闘用MSとして転用することを前提としており、クロスボーン・バンガードのモビルスーツ1号機、XM-01デナン・ゾンへと発展した。さらに、XM-02デナン・ゲーでは格闘性能が向上した。これに続いてXM-04ベルガ・ダラス、XM-05ベルガ・ギロスが作られた。シェルフノズルというジェネレータを機体の外へ取り付けたユニークな設計が特色である。この改良型としてXM-05Bベルガ・バルスが存在する。

C・V事は、格闘型と戦闘型の

Crossbone Vanguard

《ラフレシア計画》



XM-07A

鉄仮面こと力口ツソが独自に開発をすすめたモビルアーマー。この開発計画による先端技術をフィードバックしたMSが開発されているという情報もある。

D・T隊に配備されているC・V軍の最新鋭MS。シエフィールド大尉が搭乗。

同時に開発。

XM-05B

XM-07G

MSに偵察用MSが加わるという陣形で作戦行動を取る。XM-03エビル・Sは偵察用MSとして開発された機体で、高級士官用の最新型がXM-06ダギ・イルスである。

このほか、さらに次世代を考慮して開発されたXM-07ビギナ・ギナ、XM-05Gビギナ・ゼラ（ビギナ・ギナの火器強化タイプ）もロールアウトしている。

C・V軍の型式番号は、連邦軍側が機体識別のために付けたコードネームで、実際の開発ナンバーや諸性能は、クロスボーン・バンガードの実態とともにまだ解明されていない。

Night Raid

RGM-111 ハーディガン バリエーション ナイトレイド

■夜襲降下作戦タイプ

【機体設定】宇宙歴0118年8月、地球圏インド地方で起った、旧ネオ・ジオンを信奉する反地球連邦政府組織による内乱鎮圧のために出撃した降下作戦部隊仕様

作戦は夜間に決行されたため、夜間戦闘用の特殊装備が施されている。この鎮圧作戦を指揮したのか、後にオールスモビル掃討の一環の傭兵部隊隊長として名を挙げたバズ・ガレムソン中佐である

【作例解説】これから紹介する一連の作例は、いずれも“ジルエットフォーミュラー”シリーズのキットをベースとした改造作例である。

第一に紹介するRGM-111ナイトレイドは、一見ではハーディガンと思えない、違った形のMSになっている。これは、背部にF90Ⅰ号機Aタイプの増加機動ユニットを取り付け、F90Ⅱ号機Lタイプのロングライフルを腰に装着させたMS版の降下猟兵として空挺作戦を実施するのである

ロングライフルには、地上での作戦行動を考えて、バイポッドを追加してみた。左腕のハードポイント（HP）に流用パーツで構成したモーターキャノンを付けたため、シールドは右腕にもってきた

機体色には夜間戦闘用という想定からダークグリーンとミッドナイトブルーでまとめてみた。ハーディガン本体には、頭部、胸部、両肩アーマーに各種センサー類を追加してある。

▼フォールディング状態のロングビームマシンガン。バイポットも折りたためるようにしてある。

▶バイポットは可動に支障をきたさぬように、ノーマルより周囲を切りつめて小型化した。

▼本体はF90Ⅰ号機Aタイプ増加機動ユニットだが、左右にPタイプの主翼を接合してある。

RGM-111 ハーディガン バリエーション ブリッツクリーク

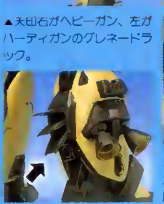
■電撃作戦仕様

type B.T.

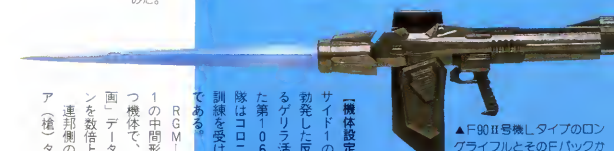
▼ロングビーム・マシンガンを両手で構えたところ。バイポッドを開くと、下の写真のような形になる。

▶脚後部には、F90Ⅰ号機Vタイプのフィンをとりつけてみた。

▲大切右がヘビーガン、左がハーディガンのグレネードラック。



▲脚のミサイル弾ポッドは、ガレージキットのヘビーガン用パーツから。



▲F90Ⅱ号機LタイプのロングライフルとそのEパックから作った、ビームスピア。

Blitzkrieg

【機体設定】宇宙歴0119年、サイド1のコロニー、24バンチで勃発した反地球連邦政府組織によるゲリラ活動鎮圧のため、出撃した第106守護中隊のための専用機。同隊はコロニー内戦闘のために特別訓練を受けたスペシャルフォースである。

RGM-109とRGM-111の中間形態ともいえる特色をもつ機体で、サナリイからの「F計画」データ供与により、ヘビーガンを数倍上回る高性能機となった。

連邦側のMSには珍しく、スピア（槍）タイプの武器を使う。

【作例解説】製作のベースとなったのはハーディガンだが、ヘビーガンとの中間形態という設定から同キットのパーツを使用。先祖帰りした形状となった。胴体、腕、脚、足、バックパックはハーディガン、頭と肩アーマーはヘビーガンである。また、サイドアーマーは右腰側がハーディガン、左腰側がヘビーガンという折衷スタイルである。右腕のミサイル弾ポッドはガレージキットのヘビーガンバリエーションパーツから。

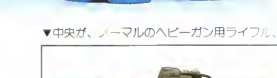
さて、連邦のMSとしては貴重な武器であるビームランサーの正体は、F90Ⅱ号機Lタイプのロングライフルの中央部を切って前後を逆にし、同ロングライフルのEパックをつけたもの。グリップは流用パーツ、シールド部分はプラ板、そしてビーム部分はエポキシパテによる造型である。デザインとしては、Iタイプのビームランサーの形状を参考にし、そのプロトタイプという気分である。

機体色は、コロニー戦用のスペシャル仕様ということで、「0080」のジムコマンド（G型）を参考にしてみた。

本体色はダークイエローとネービーブルーを基調にまとめてみた。ジムコマンドはセールカラーとマホガニーぐらいたが、ハーディガンのイメージカラーであるフルーを残してみたかったからだ。

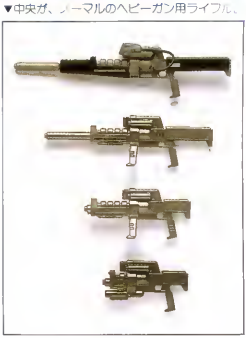
F71B Gキャノン マクナ
バリエーションタイプ
スーパーデストロイド
■強化火器支援タイプ

▶両脚の増加ブースターは、ガレージキットのパーツを使っている。F90タイプのブースト/バックを使ってもよい。



◀Gキャノンマグナのキットに手持ちの武器はつかない。設定上は、ヘビーガンのライフルを共用する。

▼中央が、ノーマルのヘビーガン用ライフル。



【機体設定】 宇宙歴0121年1月、サイド4周辺の暗礁宙域にオールズモビル残党部隊の拠点があることが確認された。地球連邦軍は直ちに第301MS中隊に、奇襲を命じた。この戦闘にはRMS-109に交って、最新鋭の中距離支援用攻撃型MSであるF71が加わった。その中にサナリィの試作火器システムを試験的に装備した、スーパーデストロイドタイプのAE社製F71B〝Gキャノンマグナ〟が存在した。

【作例解説】 Gキャノンは、F(フォーミュラ)計画における、最新の支援型MSで、このシリーズにおけるガンキャノンといった存在である。今回の作例は、改良型のGキャノンマグナだ。これをベースに、重武装タイプを製作してみた。「F90&F91」、「シルエットFシリーズのキットは〝HP(ハードポイント)〟というウエポン取り付けのための接合点がある。

ほとんどがポリキャップ内蔵なので、このHPをうまく生かすだけで、いろいろなバリエーションが作れるわけだ。

右側の肩アーマー、ビームキャノン、両腕の武器、さらに両脚の増加ブースターはガレージキットのGキャノン用のバリエーションパーツを使っている。

右脇腹からつきでたガドリング砲や腰アーマーのロケット弾パックなどは、F90デストロイドタイプ(D)のパーツから流用した。

銃は、ヘビーガン専用ビームライフルを出力強化のスナイパータイプに改造してある。

機体色は青がスカイブルー+コバルトブルー、白がグランプリホワイトによる。

Super Destroied

XM-07G ビギナ・ゼラ
アインツェルカンプ

■シングルコンバットタイプ

type F.T.E

▶F90Ⅱ号機Ⅰタイプのブースター兼用の大型シールドとよく似ているが、ほとんどPタイプのユニットの組み合わせで製作した。

▲背部にはシェルフ・シェフィールド大尉にちなんで、シェルフノズルを装着。

【機体設定】 ビギナ・ゼラの特殊装備仕様。ダーク・タイガー隊の隊長、シェルフ・シェフィールド大尉の要請により、ブッホ・エアロダイナミクス社が完成させたビギナ・ゼラの量産機に特殊作戦用の追加装備を装着した機体。

サナリィが、F90Ⅱ号機Ⅰタイプの装備として試案した、シールド状の大型ブースターとショットランサーとよく似た装備をしている。来たるべき、アナハイム社の新鋭機ネオ・ガンダムとの一騎打ちを考慮した機体と思われる。

【作例解説】 ビギナ・ゼラの量産機をイメージして、C・V軍のベルガ・キロス、ベルガ・ダラスの機体色でまとめてみた。ただし、紫は赤を強くし、アクセントとしてグレーを入れてみた。黄は色のバランスがとれないように思えたので使用しなかった。こうしてみると、ガンダムタイプの頭部にしてもC・V軍機にしか見えないから不思議である。"プレイムタイガー"(炎の虎)という愛称から、赤い機体を連想しがちだが、シェフィールド大尉には、紫の方がよく似合うと思う……。ヴェスパはやめて、ベルガ・キロスのシェルフノズルに換えてみた。(これは人物名との駄洒落?)

シールド形のブースターユニットは、F90Ⅰ号機Pタイプの装備をあれこれと継ぎ合わせてまとめたものだ。やはり、サナリィにはブッホ・コンツェルンの産業スパイも潜入しているのだろうか。

ショットランサーは、これもベルガ・ギロスから。限りなく、ベルガ・ギロスに近いビギナ・ゼラなのである。

Flamme Tiger Einzelkampf

XM-01 デナン・ゾン ダークタイガー隊仕様

モーリス・オバリー少尉機

XM-05B ベルガ・バルス

▲ユ・V軍MSの特徴であるデュアル・アイを擬装するためのモノアイタイプのゴーグル。

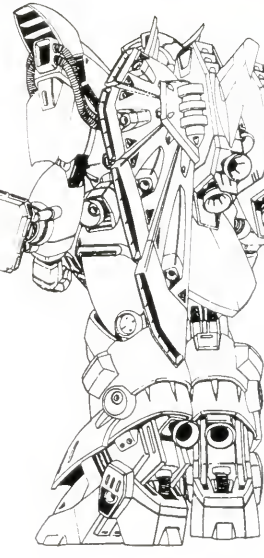
▼上がキットのデナン・ゾン用ショットランサー。下は試作タイプのもので、モーリス・オバリー機が使用。

【機体設定】タークタイカー隊には、XM-01、XM-02、XM-03そしてXM-05、XM-07Gが配備されている。その中で、このXM-01デナン・ゾンはモーリス・オバリー少尉が搭乗、ブレイウットのMS実験部隊と初めて遭遇した機体である。ショットランサーは試作型で、訓練用のため先端が合成ゴム製になっている。

【作例解説】"F91"シリーズの1/100デナン・ゾンのキットを塗装換えしたもの。赤はサンダーバーズカラーのレッド、パーフルは一般型ベルカ・キロスと同じ、白を加えたもの。関節部色、武器などは黒鉄色、ダークタイカー隊マークはコヒーに着色したものを使用。

このデナン・ゾンの特色であるモノアイ状のゴーグルは、エポキシパテで自作した。頭部パーツの目（デュアルアイ）の部分に模型用のグリスをぬりつけておき、その上にエポキシパテを盛る。こうしておくと、硬化後、楽に分離させられるのだ。さらに、表面にテイテールをつけて行けば完成である。

ショットランサーは、キットのパーツを加工した



【機体設定】XM-07Gに搭乗するまで、ンェフィールド大尉が愛機としていた機体。XM-05ベルカ・キロスの改良型で、ウンク状に構成されたシェルフノズルが特色。ハナナ型マカジンを二列に並べた機銃を備えたショットランサーを使用する。ジェネレータ出力、スラスター推力、アポジモーター数いずれも向上、前期型をうわまわる高機動性能を発揮する。

【作例解説】ベルカ・パルスは、フラモデル化のラインナップに含まれていないため、ベルガ・キロスのキットをベースに自作するしか手はない。

現在、フラキャスト製改造パーツとして、Bクラブ・カレージットで商品化を企画中

MSハンドブック ルジェトフォーミュラ 平成3年10月30日発行 発行人・山科誠 編集人・川口克己 守山博文 協力・サンライス企画
発行所・〒101 東京都千代田区神田2-5-4 株式会社バンダイ ホビー事業部

©創通エージェンシー・サンライス